

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公表番号】特表 2002-533494 (P2002-533494A)
 【公表日】平成 14 年 10 月 8 日 (2002.10.8)
 【出願番号】特願 2000-589597 (P2000-589597)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)
C 0 8 G 64/20 (2006.01)
C 0 8 J 5/00 (2006.01)
C 0 8 L 55/02 (2006.01)
G 1 1 B 7/253 (2006.01)
G 1 1 B 7/24 (2006.01)
G 1 1 B 7/26 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 69/00
 C 0 8 G 64/20
 C 0 8 J 5/00 C F D
 C 0 8 L 55/02
 G 1 1 B 7/24 5 2 6 G
 G 1 1 B 7/24 5 3 1 Z
 G 1 1 B 7/26 5 2 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 10 月 16 日 (2006.10.16)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 1, 3, 4, 6, 7, 8 - ヘキサヒドロ - 1 - メチル - 2 H - ピリミド [1, 1 - a] ピリミジン、亜リン酸アルカリ金属塩、亜リン酸アルカリ土類金属塩、硫酸カリウム及び硫酸セシウムからなる群から選択される触媒成分を用いた炭酸ジエステルとジヒドロキシ化合物との溶融エステル交換法で得られるポリカーボネートを含んでなる光ディスクであって、150 kgf/mm を上回る延性を有するとともにフリース含有量が 1400 ppm 未満である光ディスク。

【請求項 2】 200 kgf/mm を上回る延性を有する、請求項 1 記載の光ディスク。

【請求項 3】 300 kgf/mm を上回る延性を有する、請求項 2 記載の光ディスク。

【請求項 4】 480 kgf/mm を上回る延性を有する、請求項 3 記載の光ディスク。

【請求項 5】 前記ポリカーボネートのフリース含有量が 1000 ppm 未満である、請求項 1 記載の光ディスク。

【請求項 6】 前記ポリカーボネートのフリース含有量が 800 ppm 未満である、請求項 3 記載の光ディスク。

【請求項 7】 前記ポリカーボネートのフリース含有量が 360 ppm 未満である、請求項 4 記載の光ディスク。

【請求項 8】 前記ポリカーボネートのフリース含有量が 290 ppm 未満である、請求項 7 記載の光ディスク。

【請求項 9】 前記ポリカーボネートが 5 ～ 30 の MFR (1.2 kg、250) を有する、請求項 2 記載の光ディスク。

【請求項 10】 前記ポリカーボネートが 10 ～ 17 の MFR (1.2 kg、250) を有する、請求項 9 記載の光ディスク。

【請求項 11】 前記ポリカーボネートが 15 未満の MFR (1.2 kg、250) を有する、請求項 10 記載の光ディスク。

【請求項 12】 前記ポリカーボネートが 14 未満の MFR (1.2 kg、250) を有する、請求項 11 記載の光ディスク。

【請求項 13】 前記ポリカーボネートの末端封鎖含有量が 85 % を上回る、請求項 8 記載の光ディスク。

【請求項 14】 前記ポリカーボネートの末端封鎖含有量が 96 % を上回る、請求項 14 記載の光ディスク。

【請求項 15】 当該光ディスクが ABS 樹脂をさらに含む、請求項 1 乃至請求項 14 のいずれか 1 項記載の光ディスク。